

アミーゴ通信

2017年3月 春号

《特集》

子ども支え合い事業 2016

- ・アミーゴ自然塾
- ・いわきプロジェクト
- ・だがしや楽校

2017年3月
春号

発行日：2017年3月31日

発行者：永井昌史

住 所：西東京市西原町1-5-13

電 話：042-478-0056

e-mail：info@kodomoamigo.org



アミーゴ子ども支え合い事業報告①

アミーゴ自然塾



アミーゴの学童卒所生を対象とした野外キャンプ事業として、今年も「山で遊ぼう！自然塾」を、2016年8月5日～7日の日程で行いました。学童を卒所して地域に戻っても、学童の仲間同士がつながって、自分の居場所がそこにあることを忘れないで欲しいという想いで、アミーゴの学童の全卒所生を対象にした団体の柱となる事業の一つです。



今年度の参加者は小学生、中学生の参加者が21名、高校生スタッフが4名で、東京都日の出町、日の出山の山麓に位置し、NPO法人 花咲き村が運営する「古民家滝本」周辺にテントを張り、様々な野外活動を行い共に生活をしました。

大事な火おこし！三日間のごはん・お風呂には、この火だねを使いました。

やりたい事や食事のメニューなどは、全て子ども会議を開いて自分たちで決めていきました。今年はいこれまで希望はあったものの、実現が叶っていなかった流しそうめんを、ついにやることができました。野生の竹をみんなで切り出して、それを自分たちで割って組んだ流し台を使って流しそうめんを思う存分に楽しみました。ずぶ濡れになりながら川で水を掛け合い、ドラム缶風呂に入ってホッと一息ついたり、自然の中での遊びを仲間と共に満喫していました。

今年も昨年に引き続き、参加者OBの高校生が参加してくれました。自然塾参加の上限となる中学3年生の参加者が、キャンプファイヤーで火を囲みながら、今度は自分が高校生スタッフのようになりたいと来年に向けた夢を後輩たちに語ってくれました。
(理事：佐藤文俊)



みんなで協力して、流しそうめんの台を作りました。



ごはんはすべて、自分たちで決めたメニュー！

アミーゴ子ども支え合い事業報告② いわきプロジェクト

今年も福島の子ども達がやってきました！



福島県いわき市「社団法人キッズスマイル FP いわき」の四倉児童クラブ・大浦児童クラブとの交流事業を8月19日に実施しました。この事業は、2011年の東日本大震災の際に高橋評議員（当時理事）が全国学童保育連絡協議会の要請を受けて、いわき市で学童保育支援活動を行ったことをきっかけに始まったものです。以降、交流を続けてきた四倉児童クラブが今年度から大浦児童クラブと併せて社団法人となり、今回はこの両学童クラブとの交流となりました。

当日は、向台学童クラブと向台第二学童クラブを会場に、いわきからはおよそ30名、アミーゴ側は向台、向台第二に北原学童クラブが加わった40名あまりの3、4年生を中心とした子ども達が参加しました。5～6人の班をつくり、班ごとに自分たちで遊びを決め、ベーゴマ、火おこし、ドッジボール、水遊びなどを行いました。火おこしでは、なかなか火がつかない班の仲間を励まし、火が点くとみんなで大喜びする姿が見られました。いわきの子ども達は「3人以上の顔と名前を覚えて帰ること」を事前に目標としたとのことで、遊びを通じた交流の中で、その目標を達成した子どもも多かったようです。

被災地の子どもたちに思い切り体を動かして遊んでもらいたい！とスタートした本事業も、現地の復興のペースに合わせ、支援から交流へと軸足を移しています。長時間のバス移動の負担など継続にあたって見直すべき課題もありますが、これまで築いた関係を活かし、今後も息の長い交流を続けていきたいと思えます。

（理事：田中誠）



アミーゴ子ども支え合い事業報告③

だがしや楽校

「ありがとうでつながるみんなの輪」



9月11日（日）、向台公園（西東京市）において、「ありがとうでつながるみんなの輪」をテーマに、だがしや楽校を開催しました。

直前まで雨天の心配もありましたが当日は天候に恵まれ、地域の親子連れや学童クラブの卒所生など多くの方に来ていただきました。

アミーゴの学童クラブ・児童センターは、職員が中心となって子どもや保護者の協力を得ながらお店を出して、それぞれ独自の魅力をあますことなく発揮していました。

〈学童・児童センターの出店〉

- 北原学童クラブ：「きたはら横丁」小物・アクセサリー販売など
- 向台学童クラブ：「向台森づくりや」クギ人形づくり、マンカラ、観葉植物販売、ボーリングなど
- 向台第二学童クラブ：「キラキラや」巨大コリント、射的など
- 谷戸学童クラブ：「ベーゴマ屋」ベーゴマ対戦・販売など
- ひばりが丘第一学童クラブ：「大学おとし」
- ひばりが丘第二学童クラブ：「ダブルダッチ体験場」
- ひばりが丘児童センター：「射的屋」

このほか、理事・評議員によるアミーゴ焼きや玉こんにゃくなどの食べ物、駄菓子屋さんなども出店しました。ステージでの子どもたちによるダンス披露やベーゴマ大会など、見て・聴いて・食べて・体験して…と色々な楽しみ方ができる「だがしや楽校」でした。

外部団体は、昨年に続き『くるみえ』さんの「あそぼうパン」「人間ガチャガチャ」と『ワークステーション・ウーノの会』さんが手づくりパンや焼き菓子などの販売で、出店していただきました。また柳沢で駄菓子屋さんを営む『ヤギサワベース』さんが今年初の参加で、「子ども縁日」の出店をしていただきました。

福島県いわき市からは今年も、四倉・大浦児童クラブの子どもたち、職員や保護者の方々がバスをチャーターして出店参加し、8月の交流事業で共に遊んだ子ども達が再会を果たし、楽しいひと時を過ごしました。

アミーゴに関わる多くの人と一緒に集い、地域の方々にアミーゴを知ってもらおう「だがしや楽校」を、これからも楽しく続けていきたいと思っています。
(理事：加藤泰)

アミーゴの活動を支えてください！

子どもアミーゴ西東京は、今年で設立から11年目を迎えます。活動や事業の土台となる財政基盤の確保のため日夜努力をしていますが、その収入のほとんどを市からの委託金で賄っているのも現状です。地域のすべての子どもたちのために、という大きな目標に向かい活動を継続していくには、皆さんからのご支援がこれからも欠かせません。

どうか、今後ともご支援いただきますよう、お願いいたします。

【支援方法】

1) ボランティアとして活動に関わる

私たちがおこなうイベントや活動に、ボランティアとして関わってください。

2) 会員になる

私たちの活動や考えに賛同いただけたら、会員になってください。会費は年3000円です。イベントのお知らせや「アミーゴ通信」などをお送りいたします。

3) 寄付をする

直接的な活動への関わりはできなくても、共感や応援の気持ちを「寄付」という形で表していただけるだけでも、私たちには大きな力となります。

振込先：郵便振替：記号番号 00130-0-555814

三菱東京UFJ銀行 東松原支店(319)口座番号：3743180

口座名義：特定非営利活動法人 子どもアミーゴ西東京

☆詳しくは、事務局までお問い合わせください。→TEL 042-478-0056 メール info@kodomoamigo.org